

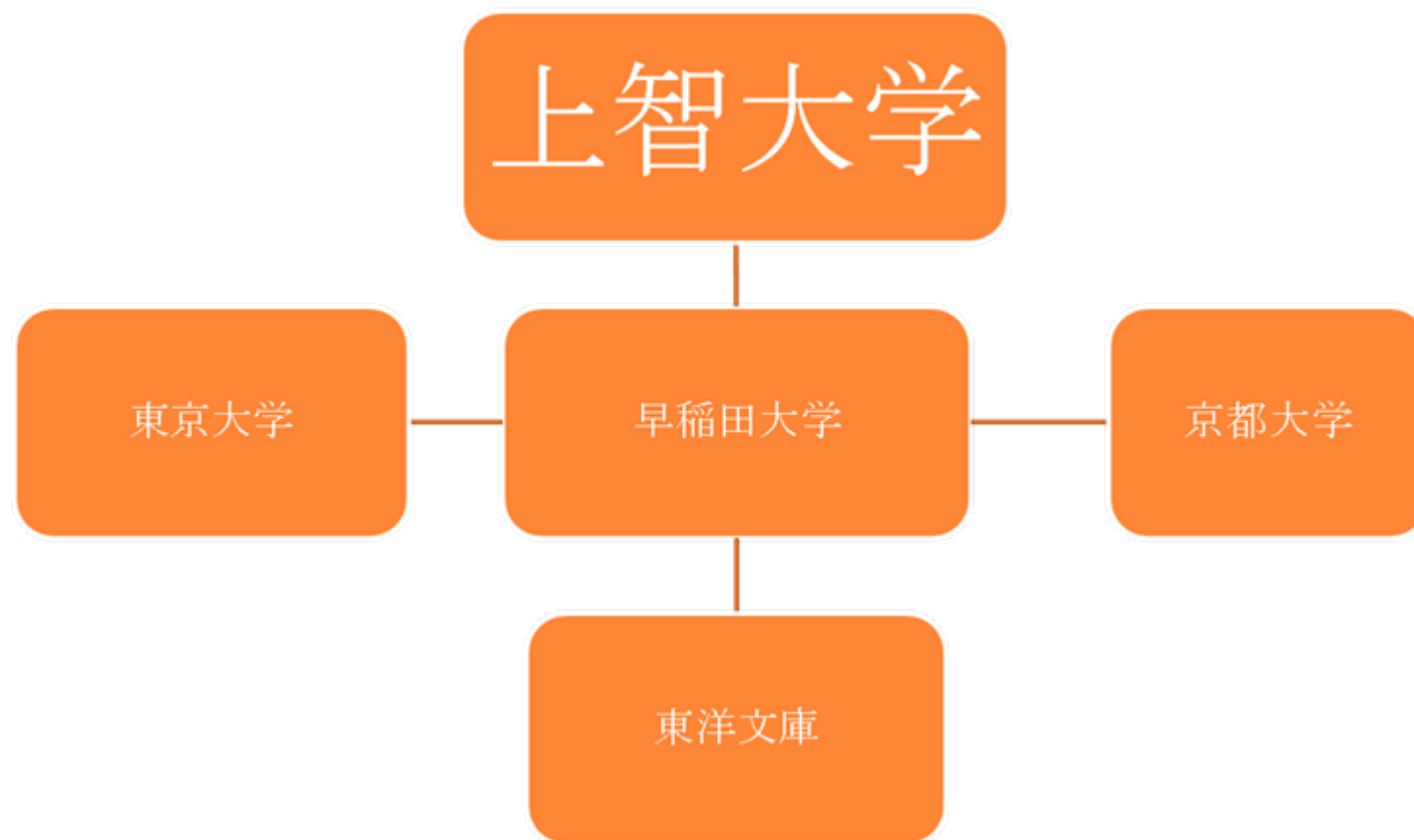
上智大学

イスラーム地域研究の

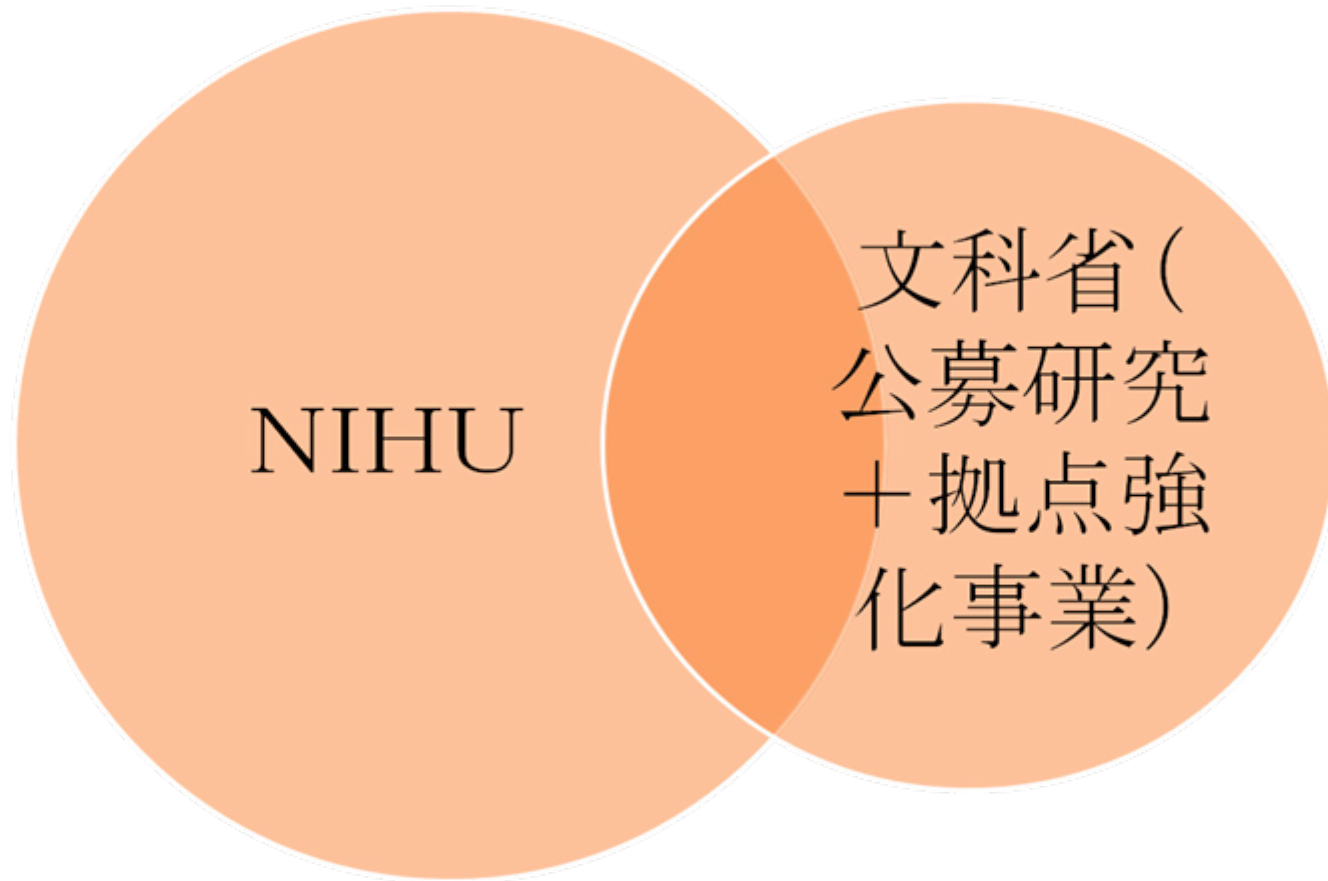
現在

人間文化研究機構 (NIHU) プログラム + 文部科学省 (イスラーム地域研究機構)

「イスラーム地域研究」



NIHUと文科省（イスラーム地域研究機構）の二重推進体制



- 研究代表者

私市正年(イスラーム研究センター長／外国語学部教授／アジア文化研究所所員)

- 共同研究者

川島緑(外国語学部教授／アジア文化研究所所員)、赤堀雅幸(外国語学部教授／アジア文化研究所所員)、三代川寛子(NIHU特別研究員／アジア文化研究所客員研究所員)、高橋圭(イスラーム研究センター特別研究員)、荒井康一(上智大学研究補助員)、**Augustine Sali** (文学部准教授／アジア文化研究所所員)、**Cyril Veliath** (外国語学部教授／アジア文化研究所所員)

- 学外研究分担者(帝京大学、東京大学、名古屋大学、アルジェ大学など)、約**13**名

- 研究協力者(上智大学、他全国の大学院生)、約**50**名



○ 特徴

1. 全国の大学や研究者によるネットワーク型研究
(**cf.** COEのような大学間の競争ではない)
2. 日本にイスラーム地域研究の拠点を構築する
→5機関の拠点指定。長期間(第Ⅰ期**5**年、第Ⅱ期**5**年)の研究費助成。研究員の派遣。
3. 大学院教育など若手研究者の育成
4. 海外に開けた研究→分担者に外国の研究者を含める。海外で国際会議の開催



● **第Ⅰ期:2006年度～2010年度**

グループ1(私市)「イスラーム主義と社会運動・民衆運動」

グループ2(川島)「東南アジア・イスラームの展開」

グループ3(赤堀)「スーフイズムと民衆イスラーム」

☆ **組織面の整備拡充**

2010年4月1日、時限付き「イスラーム研究センター」設立

☆ **人事面の拡充**

2011年4月1日、イスラーム研究センター付き「特別研究員」1名の配置

● **第Ⅱ期:2011年度～2015年度**

3グループの共通テーマ「イスラーム近代と民衆のネットワーク」

● 文部科学省「イスラーム地域研究機構」は第Ⅰ期**2008年度～2012年度**。第Ⅱ期は未定。



第Ⅰ期の成果と第Ⅱ期の課題(第1グループの活動を中心に)

●イスラーム(原理)主義の台頭と支配

:エジプト、アルジェリア、ヨルダン、シリア、トルコ、インドネシア、クウェート、イランなどのイスラーム(原理)主義組織の分析と比較

1. イスラーム主義とは何か？

- ・近代性**Modernity**への疑念・近代性の挫折
 - ・宗教(イスラーム法)に基づく政治運動(国家建設運動)
←近代の成果に逆行する運動。失業、貧困者の下層の人々だけでなく、知識人、中間層の人々まで幅広い支持
 - ・転機としての**1970**年代
- ナショナリズム、社会主義の挫折・失敗



2. イスラーム(主義)による社会の支配

- **1980**年代後半、共同体的ネットワークに支えられて前面に出現
- 権力と住民との仲介役⇒イスラーム・ネットワークの政治化
 - ➡ **1989**年頂点
 - : 「悪魔の詩」事件(ラシュディ事件)、ベール問題、インティファダ、アルジェリアのFIS台頭



3. 転機として1990年代

- 国家権力の奪取直前にまでいたったイスラーム勢力⇔独裁権力を維持しようとする体制・軍
 - 両者の中で激しい武力衝突・テロリズム(とくにアルジェリア、エジプト)
- ➡結果、体制・軍の勝利(今回のアラブ政変で追われたベン・アリー、ムバーラク、カダフィーなど)



ルクソール事件(1997/11/17)

(ハトシェプスト神殿) 死者63名、内日本人10名



4. 21世紀のイスラーム

・一つの共通認識・常識の形成

中東・イスラーム諸国においては、軍に支えられた独裁体制は**90年代の危機**を乗り越え、より強固に安定化。

テロや暴力的衝突は周辺国(アフガニスタン、パキスタン、モーリタニアなど)では起こるが、注目すべきことではない。

・イスラーム問題の中心舞台は欧米へ

2001・9・11 ニューヨークの貿易センタービル襲撃

2004・3・11 マドリードの地下鉄でのテロ

2005・7・7 ロンドンで地下鉄とバスでのテロ



2001・9・11ニューヨーク・テロ事件



マドリード・テロ事件(2004/3/11)



ロンドン・テロ現場近く (ラッセルスクエア 2005/7/7)



ビン・ラーディン(2011/5/1 殺害)



5. “アラブの春”の衝撃:今後の課題

2011・1・14 チュニジアのベン・アリー(23年間在位)の
亡命

2011・2・11 エジプトのムバーラク(30年間在位)の退陣

2011・9・ リビアのカダフィー(42年間在位)体制崩壊

● 専門家が誰も予想できなかった政変

今後、検討すべき課題

- ・そもそもイスラーム運動とは何だったのか？
- ・これからイスラーム運動の役割は？
- ・革命後の国家における市民勢力と宗教勢力の関係は？

